

平成 28 年度第 3 回公立大学法人宮城大学経営審議会議事録

日 時	平成29年3月22日（水）午前10時00分から午前11時55分まで
場 所	宮城大学大和キャンパス本部棟 4 階 応接会議室
出 席 者	阿部博之委員，大山健太郎委員，今野敦之委員，櫻井武寛委員，佃委員，堀切川委員，佐々木昭男委員，西垣克委員，河端章好委員，西城正志委員，高橋芳行委員，長屋正人委員，高山登理事，岩堀恵祐理事，竹内文生理事
事 務 部	佐々木部長，千葉次長，小松企画財務課長，加茂学務課長，菅澤総務グループリーダー，齋藤企画予算グループリーダー，武田入試グループリーダー，名取主査
議 事 概 要	<p>1 開会（午前 10 時 00 分）</p> <p>2 挨拶（西垣理事長） 年度末の御多用の中，お集まりいただき感謝する。 全学を挙げて大学改革に取り組んでおり，委員の皆様には経営への御協力をいただいていることに御礼申し上げる。 私自身は，今月末で6年の任期を終える。この春から新しい理事長の下で，新しい大学としてスタートするので，引き続き御助言をいただきたい。</p> <p>3 議事録署名人の選任 西垣議長から，前回会議の議事録について出席者に確認を求めた後，阿部委員及び西城委員が議事録署名人に指名された。</p> <p>4 審議事項 (1) 平成 29 年度年度計画（案）について <div style="text-align: right;">（説明：河端委員）</div> 来年度は第二期中期計画の3年度目であり，中期計画6年間の前半の折り返しになる。 （以下，資料1に基づき河端委員から説明） （佐々木委員）留学生の状況は。 （加茂課長）今年度は，全部で30名。学部に25名，大学院に5名である。国別では中国が14人，ベトナムが8人，韓国3人，モンゴル2人，ルアンダ・コンゴ・タンザニアが各1人となっている。 （佐々木委員）留学生に対する卒業後の国内への就職支援はどうか。 （加茂課長）キャリア開発センターで対応はしているが，留学生向けの特別な対応は行っていない。 （佐々木委員）留学生に対しては，生活支援など大学としてのそれなりの</p>

対応が必要だ。公立大学では人的な資源の不足もあり、対応はなかなか難しいのではないかと感じている。

(西垣議長) 仙台の日本語学校で学んでから大学へ進学という流れが主流であるが、宮城大学は一般入試を行うということを日本語学校でもわかっているのだから、ちゃんとした学生が送り込まれている印象だ。最近の傾向としては、中国からの学生が一番多いことには変わりはないが、2番手がベトナム、3番手がネパールになってきている。ネパールのプロモーターがアクティブになっている。留学生には、家賃や授業料の未納などの問題がある。バイトの斡旋など、生活支援も必要である。また、日本語学校は仙台でもその後は東京、という流れも強まっている印象である。本学としては、ABEイニシアチブやトビタテ留学JAPANなどに積極的に参画しているが、全学的な国際化の流れはまだまだである。語学教員を非常勤から専従職員化して、生きた語学を学生に提供する工夫はしている。アーカンソー大学には、毎年2名ずつ学生を無料で受け入れてもらっていたが、経済状況もあり無料は難しいと言われてきている。タンペレ大学も同様である。

<異議無く承認された>

(2) 平成28年度当初予算(案)について

(説明: 西城委員)

(以下、資料2-1, 2-2に基づき西城委員から説明)

(櫻井委員) 「予算編成の基本方針」の中で、教育経費については「前年度予算の1パーセント以上を減じた額を目安とする」と記載されているが、今の説明では教育経費が増額となっているが。

(西城委員) 来年度は大学改革初年度であり、改革に伴う新たなコストが必要となり、その部分は増額となるが、それ以外は1パーセント減額ということである。

(櫻井委員) 目的積立金を取り崩すということだが、全体のどれぐらいを取り崩すことになるのか。

(西城委員) 目的積立金は6億3800万円のうち1億1900万円を取り崩すという予算である。

(西垣議長) 国の方針もあって、予算は年々厳しくなるが、ここ数年は学生目線で環境整備をしてもらうための予算を学部毎に毎年約1000万円ずつ計上していた。これは学部長にも喜んでもらい、基本的なところは充足されたと思う。ただ、この春から筋ジムの学生が入学されるので、ハード・ソフトの整備を行っているところであり、まだまだ整備が必要な部分もある。

<異議無く承認された>

(3) 平成 27 年度補正予算について (追認)

(説明：西城委員)

(以下、資料 3 に基づき西城委員から説明)

(大山委員) 予算案だけを見ても議論が深まらない。決算と比較して初めて議論ができるのではないか。民間企業の視点からすると、若干、違和感を感じている。決算の補足資料があればと思う。

(西城委員) 私も民間から来たのでそう感じている。できるかどうか検討してみたい。

(西垣議長) 私学と国立は全く違う会計であり、公立大学法人も異なる。国の運営費交付金は、学部の種類と学生の数の単価で計算しているが、県から届くときには、それがわからなくなっている。宮城県は良心的にやってもらっていると思うが。それでも、経営努力が報われないシステムになっていると思う。国立大学はどうか。

(堀切川委員) 文科省の方が「国立大学法人の 1 パーセント交付金減額をやめる」と発言していた。それがどうなっているかはわからないが。

(西垣議長) 新聞報道では、傾斜配分するとされていたので、それに含まれているのだと推測している。

(櫻井委員) 奨学金を受給している学生はどれぐらいか。

(加茂課長) 利用が一番多いのは日本学生支援機構である。学生 1 8 0 1 名の 7 8 0 名が受けている。4 0 数パーセントになる。

(櫻井委員) 卒業後の状況は掴んでいるか。

(加茂課長) 3 カ月以上の滞納については、毎年人数の報告があるが、全国平均より滞納率は低い。

<異議無く承認された>

(4) 大学改革実施に伴う公立大学法人宮城大学基本規則、就業規則及び賃金規程の一部改正について

(説明：河端委員)

今回の大学改革に伴う規則・規程の改正である。

(資料 4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-5 に基づき河端委員から説明)

(阿部委員) 学部教授会は人事には一切関与しないのか。

(西垣議長) しない。学校教育法の改正により、人事権は人事担当理事に集約した。

(阿部委員) 私はこの改革は間違いだと思うが、仕方がない。

(西垣議長) 講座制を中心とした大学とそうでない大学を一緒に改革しようとした結果である。

(阿部委員) 宮城大学としては努力をしようとした跡が見られる。

(西垣議長) ユニット制を導入し、教員が一人親方にならないような努力はしたつもりである。

(堀切川委員) 学群・学系の新しい体制となることは定めてあるが、ユニットは別に定めるのか。

(河端委員) 別に定める。

(堀切川委員) ユニットは教育と研究の両方を意識しているのか。

(西垣議長) そうである。

(堀切川委員) 自分がいる組織では、教育は教授・准教授・助教が一体となっていくことになっており、研究は教授と助教が一体で、准教授は独立で自由に、という建前になっている。

(大山委員) 民間であれば、研究と教育のマトリックスで管理するという手法がある。

<異議無く承認された>

5 報告事項

(2) 学長選考の結果について

(説明：千葉次長)

前回の経営審議会において、文部科学省科学技術・学術政策研究所長の川上伸昭氏を学長候補者に推薦したが、学長選考会議において、川上氏が選考され、宮城県知事に報告し、新理事長の予定者に決定した。

(資料5に基づき千葉次長から説明)

(2) 平成29年度入学者選抜状況について

(説明：長屋委員)

(資料6に基づき長屋委員から説明)

(3) 平成28年度外部研究資金の獲得状況について

(説明：岩堀理事)

(資料7に基づき長屋委員から説明)

	<p>6 その他</p> <p>(西垣議長) 6年間の任期を無事に終えられそうである。御協力に感謝する。県にも相談していたが、本日御参加の委員の皆様には、来年度以降も引き続き経営審議会委員に御就任いただき、本学への御指導をいただきたいと思っている。何卒、よろしくお願ひしたい。</p> <p style="text-align: right;">(午前11時55分 閉会)</p>
--	--

この議事録は、平成 28 年度第 3 回公立大学法人宮城大学経営審議会の議事録である。

公立大学法人宮城大学

経営審議会議長

西垣 克



議事録署名委員

阿部 博之



議事録署名委員

西城 正志

